

参考資料1 各国の洋上風力の目標や政策（GW）

	導入実績 (GW)	2030	2040	2050	政策及び情報源
英国	13.9	<u>50</u> (浮体式 5GWを含 む)	浮体式 34		<p>英國エネルギー安全保障戦略 (2022年4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 洋上風力の手続きにかかる時間の半減を目指す 2030年までに50GWの「ambition」は2020年 10ポイントプランで発表した40GWからの強化 <p>浮体式「2040年までに34GW」は業界団体 RenewableUK の分析による「ポテンシャル」</p>
EU (27)	<u>16.3</u>	約 111	約 232	約 317	<p>EU 各国における拘束力のない合意の合計 (2023年1月)</p> <p>これより先に、EU 洋上再生可能エネルギー戦略が発表されている (2020年11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2030年までに60GW、2050年までに300GW 必要な投資額は2050年までに8,000億ユーロ 欧州委員会が今後、洋上風力に関する法的枠組みを作り明確にサポートしていく予定 欧州委員会が開発に必要な財源手当の援助を行う 欧州委員会はサプライチェーンを強化する
北海周辺国 デンマーク オランダ ドイツ ベルギー フランス アイルランド ルクセンブルク ノルウェー 英國		120		300	<p>オステンド宣言 (2023年4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 化石燃料の利用削減に向け、北海で洋上風力発電やグリーン水素の生産推進を目指す、エスピヤウ宣言 (デンマーク、オランダ、ドイツ、ベルギーが2022年に採択)から参加国を拡大して発表 ハイブリッド、多目的、多国籍の洋上風力案件、ハブを共同開発する ドイツ、デンマーク、オランダ、英国は2030年までに、計30GWの再エネ由来の水素生産能力を保有
米国	0.042	<u>30</u> 主に着床式	<u>15</u> 浮体式 2035年目標	<u>110</u> (2030年・ 30GW導入 の目標達成 の場合)	<p>浮体式洋上風力の支援戦略、政策：</p> <ul style="list-style-type: none"> Floating Offshore Wind Shot コスト7割削減を目指す インフレ抑制法(IRA)による製造生産税額控除
中国	31.4	200 (GWEC)		1,000 (GWEC)	2030年、2050年ともに 業界団体の目標 。政府目標ではない (GWEC Global Wind Report 2023)
日本	0.136	10	30-45		
台湾	1.4	13.1		40-55	<p>2050年ネットゼロ戦略の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 風力発電は、大型の浮体式を集中的に開発
ベトナム	0.874	6		70-91.5	2023年5月「 第8次国家電力基本計画 」決定
韓国	0.142	<u>14.3</u>	<u>26.7</u> <u>2036年ま でに</u>		2023年1月「 第10次電力需給基本計画 」公表